

滋賀県労働者福祉協議会
 日本労働組合総連合会 滋賀県連合会
 近畿労働金庫滋賀地区本部
 全労済滋賀推進本部
 滋賀県勤労者住宅生活協同組合
 滋賀県生活協同組合連合会
 ユメディア株式会社

滋賀県労働福祉新聞

豊かなくらし

滋賀県労働福祉新聞
 豊かなくらし 第718号(改題553号)
 平成30年8月15日発行(毎月1回15日発行)
 編集 大津市打出浜2番1号
 コラボしが21 6階(〒520-0806)
 発行人(社)滋賀県労働者福祉協議会
 柿迫 博
 TEL 077-524-6290・FAX 523-4070
 URL <http://www.s-rofuku.com>
 E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp
 印刷所 ユメディア株式会社

「第61回滋賀県勤労者共済生活協同組合通常総代会・ 第1回全労済関西統括本部滋賀推進本部組合員代表者会議」開催



7月31日(火)、草津市の「クサツエストピアホテル」におきまして、「第61回滋賀県勤労者共済生活協同組合通常総代会・第1回全労済関西統括本部滋賀推進本部組合員代表者会議」を、総代150名中146名(出席総代107名、委任4名、書面議決35名)のもと開催しました。

冒頭、西村本部長より、大阪北部地震をはじめ、多発している自然災害による滋賀県下における被災調査対応状況についての報告と、被災された皆さまへのお見舞いの挨拶がありました。また、全労済を取り巻く事業環境は、依然厳しい状況が続いている中で、2017年度は重点共済と位置づけ推進をしてきた、マイカー共済・自賠責共済においては期首を上回る純増を確保することができ、皆さまのご協力に感謝の意が表明されました。2018年度は引き続き、住まいる共済・マイカー共済・自賠責共済を最重点共済とし、「お役立ち」発想と、共に創るという「共創」活動によって、「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり」の実現を目指して取り組んでいく旨の挨拶があり、議事に入りました。第61回通常総代会においては、2017年度事業報告および決算報告を含め、9つの議案について提起され、全ての議案が承認されました。

また第1回組合員代表者会議では、Ⅰ. 2017年度滋賀県本部/滋賀推進本部統合事業報告 Ⅱ. 2018年度滋賀推進本部推進活動計画 Ⅲ. 代表委員選任結果 Ⅳ. 永年功労者表彰の件について提起され、全ての議案が承認されました。

Ⅰ. 2017年度滋賀県本部/滋賀推進本部統合事業報告
 2017年度は、Zetwork-60(2014～2017年度中期経営政策)の最終年度として、創立60周年の節目を迎えるとともに掲げた計画を総仕上げしていく年であり、同時にZetwork-60を振り返り、成果と課題を踏まえた、次の中期経営政策(New-Zetwork)を確立・継承していく非常に重要な年度でありました。

そうした中、2017年9月には効率的な組織運営と効果的な事業推進活動をめざした組織改革により滋賀県本部は、関西統括本部滋賀推進本部へ組織再編するとともに、「より魅力的な保障の生協となるための6つの約束」の実現と実行にむけて県下4地区連絡会をはじめとする協力団体や各生活協同組合ならびに労働者福祉事業団体、指定整備工場のみなさまとの連携を強化し、共済事業の推進と運動の前進に取り組んできました。

【事業状況】
 加入状況(2018年5月末)
 件数 282,497件(期首比4,471件減)
 口数 32,730,493口(期首比275,325口減)
 給付状況(2018年5月末)
 給付件数 21,977件 給付金額 2,931,675,516円

Ⅱ. 2018年度 滋賀推進本部推進活動計画
 2018年度から2021年度までの4年間を次期中期経営政策(New-Zetwork)期間として取り組んでまいります。お役立ち発想と共創活動で組合員一人ひとりとのより深い関係づくりにむけた質的強化により「深く」「長く」を追求し、その力をもって「広く」事業と運動の発展をめざしてまいります。

滋賀県内の4地区連や協力団体、各生活協同組合、各指定整備工場、労働福祉事業団体等と連携をさらに強化し、「住まいる共済(火災共済・自然災害共済)」、「マイカー共済・自賠責共済」を最重点共済に位置づけて推進してまいります。「住まいる共済」においては、今後起きることが予想されている地震に対する備えや滋賀県内で発生した雪害・台風・豪雨等による被害を教訓に自然災害共済の付帯率向上をめざし加入拡大を図ってまいります。

滋賀推進本部は、代表委員および職員が先頭に立って運動を推進し、将来にわたる組合員の保障と安心の一層確実な提供をはかる取り組みをすすめるとともに、コンプライアンスやガバナンスを強化し、業務品質のさらなる向上を目指します。

【事業目標】
 加入状況(2019年5月末目標)
 件数 274,655件(期首比7,842件減)
 口数 32,467,530口(期首比262,963口減)

Ⅲ. 代表委員選任結果
 次頁別表の体制となりました。

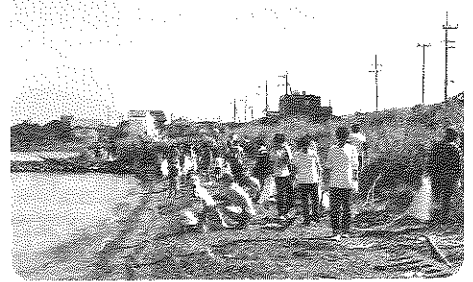
最後に、永年の労済運動の発展にご尽力をいただいた方々へ感謝状をお送りし、閉会となりました。

<別表>【全労済関西統括本部滋賀推進本部 代表委員会体制】

役職名	氏名	所属
本部長	西村 典夫	理事会
副本部長	鈴木 克典	パナソニックアプライアンス労働組合
事務局長	白川 尚正	理事会
代表委員	池内 正博	UAゼンセン滋賀県支部
	河村 孝	パナソニックアプライアンス労働組合
	坂田 広志	ルネサスグループ連合滋賀地区支部
	佐賀 春樹	自治労滋賀県本部
	白石 一夫	生活協同組合コープしが
	谷川 博樹	三菱重工グループ労働組合連合会栗東地区本部
	辻 喜則	関西電力労働組合滋賀地区本部
	津田 真志	日本電気硝子労働組合
	夏原 奏	全印刷局労働組合彦根支部
	西川 陽介	昭和電工ユニオン彦根支部
	藤澤 和司	SCREEN労働組合
	三輪 一平	京セラ労働組合
	村田 浩幸	JAM日本精工労働組合石部支部
	吉田 能孝	近江ハイヤー労働組合
	倉員 秀樹	パナソニックアプライアンス労働組合社-47-147-2支部
友則 敦司	JAMヤンマー労働組合	
苗村 一男	東レエンジニアリング労働組合滋賀地区	

りました。

我々、働く仲間一人ひとりの力は微力であっても、多くの仲間が集まれば、大きな力となります。今年もクリーンキャンペーンに一人でも多くの方が参加いただき、再度私たちの暮らしを見直し、琵琶湖への関心や理解を深める環境美化意識向上のきっかけとなれば、と思います。そして、美しく豊かな琵琶湖を次世代へ引き継ぐ活動の輪がさらに広がっていくことを期待します。



活動実施日時・場所は別表のとおりです。

詳細やご不明な点は県労福協（電話 077-524-6290）、または各地区労福協事務局までお問合わせください。

2018びわ湖クリーンキャンペーン実施予定日時・清掃場所

地区労福協	実施日時	清掃場所
大津地区労福協	9月9日(日) 9:00~12:00 (予備日9/16)	大津なぎさ公園~膳所城跡公園 ~瀬田唐橋~京阪石山寺駅 および新瀬田浄水場~唐橋公園 ~名神高架付近までの琵琶湖岸一帯
草津栗東地区労福協	9月9日(日) 8:45~10:30 (予備日9/16)	草津市役所および草津・栗東市内 主要幹線道路、JR各駅周辺
守山野洲地区労福協	9月9日(日) 9:00~10:00 (予備日9/16)	守山地区:なぎさ公園付近 野洲地区:マイアミ浜レクセンター付近
湖南甲賀地区労福協	9月9日(日) 9:00~11:00 (予備日9/16)	甲賀市役所水口庁舎 ~水口スポーツの森の河川敷
近江八幡地方労福協	9月8日(土) 10:00~12:00 (予備日9/15)	琵琶湖岸一帯 (佐波江町~島町)
東近江労福協	9月9日(日) 8:00~11:00 (予備日9/16)	ふれあい運動公園
彦根地区労福協	9月9日(日) 9:00~11:00 (予備日9/16)	彦根市尾末町 ~松原町旧港湾水路周辺 彦根市八坂町湖岸
湖北地域労福協	9月23日(日) 9:00~10:30 (予備日9/30)	長浜港周辺および湖岸道路
高島労福協	9月9日(日) 9:00~10:30 (予備日9/16)	萩の浜

'18びわ湖クリーンキャンペーン

みんなで守ろう!! かがやくびわ湖


~9月9日(日)に実施~

県下各地区労福協と連合地協共催で毎年取り組んでいる環境美化活動『びわ湖クリーンキャンペーン』を、今年も9月9日(日)(近江八幡地区は9月8日(土)、湖北地区は9月23日(日))に開催します。

当キャンペーンは、1975年から「びわ湖や自然も大切なマイホーム! ゴミは捨てない・持ち帰ろう!」という環境美化意識の啓もう活動として位置づけ、職場や居住している街の環境美化を目指し取り組んできました。徐々に住民の皆さまにも認知されるようになり、各地域活動としても定着しつつあります。

昨年度の活動では、ゴミ回収量が前年度を22%下回る結果となりましたが、依然としてペットボトルのポイ捨てや弁当殻、菓子袋も多く見られ、粗大ごみも数は減ってはいますが6地区にて確認されました。

琵琶湖は我々滋賀県民の生活に深く関わっています。古来より琵琶湖からの豊かな恵みを楽しみ、自然と共生しながら独自の生活様式や文化・景観を作り上げてまい



理想の暮らし、ここから始まる

“レインボータウン大津下阪本”

全12区画 分譲開始です。


JR湖西線 唐崎駅 徒歩約13分
京阪石坂線 穴太駅 徒歩約10分

湖西バイパス 滋賀里ランプ南より
山科まで 車で8分

スーパー・コンビニ・ドラッグストアが
充実♪買い物便利




お気軽にお問合せください



【売主】 滋賀県勤労者住宅生活協同組合

TEL077-524-2800



『中央労福協地方労福協 事務担当者研修会』に参加して

生活困窮者支援の始まりは多重債務問題
グリーンコープ生協ふくおかの取り組み

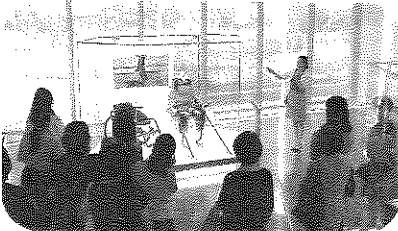
7月17・18日福岡に於いて、地方労福協事務担当者の研修会が開催されました。生活再生事業を展開するグリーンコープ生協ふくおかの取組について、生活協同組合連合会グリーンコープ連合常務理事の行岡みち子さんより、生活再生貸付(セーフティネット貸付)と生活再生相談の講演がありました。

グリーンコープでは、リーマンショック以降生活困窮状態の相談者が増加し、多重債務問題が顕著化してきたこと、生協の会員の中にも生活費や教育費などの借入れが増え、多重債務化していることに会員が驚き、生活再生事業を開始した経緯、事業をする中から新たな生活問題が見えてきて、寄付から成り立つ「かさじぞう基金」や「食糧支援」など、地域の中で支え合う支援の輪を広げています。独自の事業から、生活困窮者支援を実施していることに感動しました。特に多重債務問題は、ただ単にお金の問題に留まらず、背景には複雑に絡み合った事情が顕在している事を当事者と共に探る相談者の姿勢にも共感しました。生活の中の問題を放置せず仲間に呼びかけ、何とかしたいという思いに取組むグリーンコープの皆さんに、研修参加者からも称賛の声が上がりました。

2日目には、世界の工業ロボット生産で業績を伸ばす安川電機の工場見学と、ロボット村安川電機みらい館を訪問しました。ロボットがロボットを作るクリーンで明るい工場には、ロボットの数より働く人の少なさにちょっと驚きました。自身が持つ無機質な色味の工業用ロボットのイメージが、ブルーとホワイトで色塗られ仕上がっていくロボットに、爽やかで明るい工場環境がうかがえ、設置工場のイメージが一新しました。みらい館では、様々な分野で活躍し始めているロボットを観察でき、24時間実験をするロボットや、リハビリ補助をするやさしいロボット、ゲームで人間に挑戦するロボットも設置されていて、海外からの見学者も多く、予約が取りにくいそうです。



の相談者が増加し、多重債務問題が顕著化してきたこと、生協の会員の中にも生活費や教育費などの借入れが増え、多重債務化していることに会員が驚き、生活再生事業を開始した経緯、事業をする中から新たな生活問題が見えてきて、寄付から成り立つ「かさじぞう基金」や「食糧支援」など、地域の中で支え合う支援の輪を広げています。独自の事業から、生活困窮者支援を実施していることに感動しました。特に多重債務問題は、ただ単にお金の問題に留まらず、背景には複雑に絡み合った事情が顕在している事を当事者と共に探る相談者の姿勢にも共感しました。生活の中の問題を放置せず仲間に呼びかけ、何とかしたいという思いに取組むグリーンコープの皆さんに、研修参加者からも称賛の声が上がりました。



お助けロボット

工場の一画 YASKAWA の森は、100種類の樹木や植物が植えられ土日は市民に開放され、市民の憩いの場として親しまれています。沢山の植木鉢が並ぶどんぐり銀行などの取組にも、人と自然を大切にする社員の優しさを感じました。

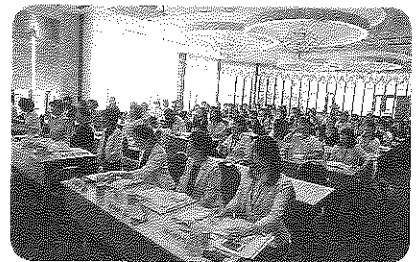
優しいロボットに、リハビリを助けてもらう近い将来が見えています。



『中央労福協シンポジウム 女性のひろば』に参加して

6月29日(金)東京都明治大学紫紺館において、初めての取り組みとなる中央労福協シンポジウム「女性のひろば」が開催されました。滋賀県労福協からも2名の女性職員が参加し、役職や所属を超え88名の女性が会場に集いました。

今回のシンポジウムは、女性の参画で労働者福祉運動のさらなる発展をめざすため、女性たちが交流する場をつくり、経験交流や意見交換を行う目的で開催されました。



シンポジウム冒頭では、中央労福協花井圭子事務局長より、「中央労福協の理念・歴史と現在の取組」について概要説明がありました。

次に、首都大学東京阿部彩教授による「子どもの貧困問題～私たちにできること～」と題した記念講演と、特定非営利団体 BOND プロジェクト外橋ジュン代表より「BOND プロジェクトの取り組み～さまざま少女への支援～」の活動報告がなされました。阿部彩講師の子どもの貧困から見えてくる本質をついた講演や、橋ジュン講師の支援を受けなければいけない子を行政だけでは担いきれない活動で支援につなぐ体当たりでの取組みに、会場の女性は、大きく頷きながら聴き入っていました。また、「子どもの貧困」とは“女性の貧困問題”であり、つまるところ、私たちが取り組まねばならない『労働問題』であること、そして、女性自身がそれぞれに抱える問題を通し、女性自身の言葉で“我が事”として発信することの重要性を再確認する内容でした。

最後の各事業団体女性管理職の方々によるリレートークでは、限られた時間ではありましたが、管理職になるまでの経緯や思い、管理職に女性が必要である事を熱く語っていただきました。

今回のシンポジウムを機に、事業団体、労福協が相互に、またさまざまな団体やNPO等と連携し、「助け合い、支え合い」「共助拡大・利用促進」の活動の輪が益々広がる取組ができれば、と思います。



ライズヴィル都賀山の

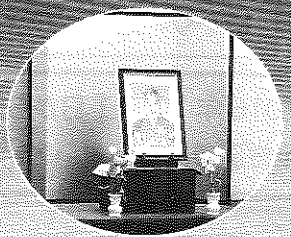
ご法事会食プラン

ご家族・ご親族、親しかった方々と一緒に、故人を偲んで在りし日の懐かしい思い出に浸るひととき。心をこめたおもてなしで、お手伝いをさせていただきます。

ご予約・お問い合わせは ☎ 077-583-7181

【JR守山駅東口】
守山市浮気町 300-24

一般財団法人 守山野洲市民交流プラザ
Riseville 都賀山
ライズヴィル コガヤマ



故人のお写真をお持ちいただければ、お飾りいたします。是非ご一緒のお時間をお過ごしくださいませ。

